



東京地本募集相談員連絡協議会が部隊研修

自衛隊東京地方協力本部（本部長・荒井陸将補）は2月21日から22日までの2日間、自衛隊東京地方協力本部募集相談員連絡協議会（「募連協」）の部隊研修を支援した。本研修は、募連協の会員に部隊の実情等を知ってもらい、組織的募集基盤の更なる拡充を図るものである。

研修一日目は、朝霞駐屯地において高田東部方面総監（元東京地本長）を表敬し、懇談では時代に対応した自衛官の処遇について総監が熱く語られる場面もあり、参加者一同、皆熱心に耳を傾けていた。

午後からは、同駐屯地内の女性自衛官教育隊を研修した。概況説明を受けた後、障害走の教育及び居室や茶室等の施設を見学し、参加者からは「女性自衛官が活き活きと前向きに頑張っている姿を見て大変参考になった。」「女性自衛官教育隊は凛とした雰囲気があり、今後更に自信を持って募集活動が出来る。」との意見が聞かれた。

研修二日目は、相馬原駐屯地において第12ヘリコプター隊等を研修した。輸送ヘリコプターCH-47の体験搭乗により群馬県中部地域の地形から見学した参加者は、その迫力に圧倒されつつ、第12旅団の練度の高さを目の当たりにして、感激した様子であった。

自衛隊東京地方協力本部は今後も募集相談員との連携を密にして、各業務の目標達成に邁進していくとしている。



ロープを使用した降下訓練



東部方面総監表敬

入隊予定者が豊島区長へ決意表明

自衛隊東京地方協力本部豊島出張所（所長 今井1陸尉【当時】）は、3月1日（金）豊島区役所において、今年度入隊予定者3名（曹候補生2名、自候生1名）及びご家族とともに高野之夫 豊島区長へ表敬訪問した。本表敬には、豊島区危機管理監、区民部長らも同席し、入隊予定者及びご家族を激励した。

参加した入隊予定者は、豊島区長からの激励を受け「立派な自衛官になるために一生懸命頑張ります。」と入隊に向けた決意を表明するとともに、ご家族からも「貴重な場を設定していただき有り難く感じます。」と感謝の言葉が聞かれた。

東京地方協力本部豊島出張所では、今後も「対象者ファースト」を合言葉に志願から入隊まで懇切丁寧なサポートに努めるとともに、地域と密着した募集・広報活動を実施して防衛省・自衛隊に対する理解を深め、自衛官募集業務に対する協力関係の強化を図っていくとしている。



入隊予定者が豊島区長へ決意表明 31.3.1